

中信高校山岳部かわらばん

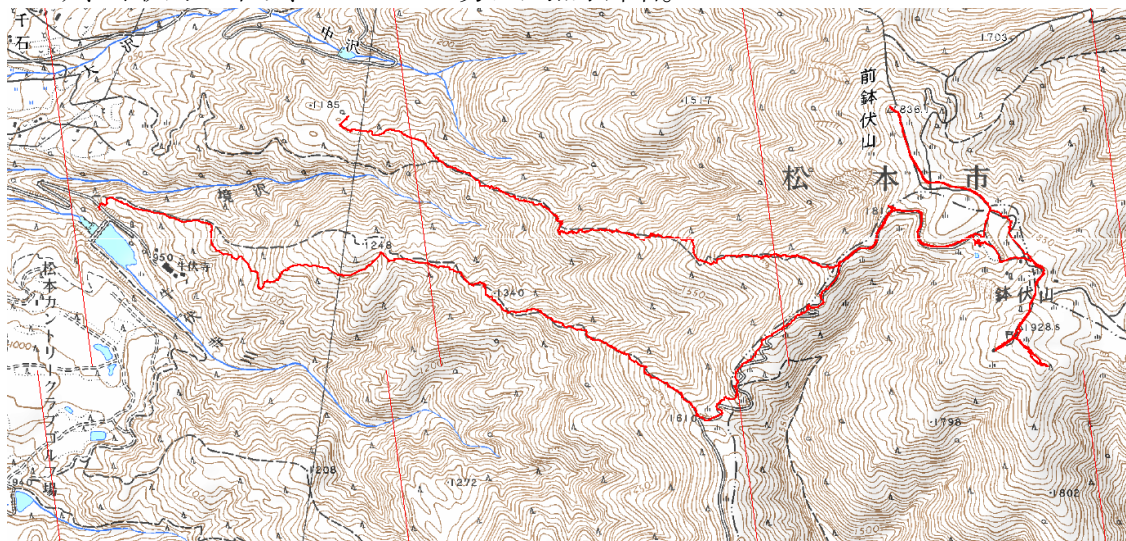
編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

新春第1弾 2011.01.06 鉢伏山

1月6日、朝起きると家の周り是一片の雪。どうしようかと思っただが、かねて予定していた鉢伏山に登ることにする。パートナーは大町山の会の山内君。9時に牛伏寺登山口に集合。雪の勢いはかなり強いが、午後は回復するという予報に期待してとりあえず登山口まで行くことにした。山内君の車はここにおいて、僕の車で千石集落から栗の木林道に車を回す。林道脇には、以前はなかった鹿よけの柵が張られ、林道には頑丈なゲートが設けられていた。うっすらと雪が積もった林道を1170m地点まで車で登る。登山口について登る準備をしていると青空も覗いてきた。送電線の鉄塔の下部から尾根にとりつく。雪もそれほどではなく、ちょうど歩きやすい。このコースについては、かわらばん293号(2009.02.04)で紹介してあるが、その時と同様、笹はすべて鹿に食いつくされている。およそ1時間歩いて1500m付近で一本。このあたりは、雪の上に鹿の足跡が縦横無尽に走っている。11時、落葉松の樹林帯を進むとやがて道は車道に突き上げた。鉢伏山は山頂直下までこの車道が走っているために夏は興ざめだが、車で行くことのできない冬は、僕のお気に入りの山の一つに変わる。

11時30分、前鉢伏山に到着。眼下には今朝方降った雪に白く覆われた松本の町が広がっている。残念ながら北アルプスの大眺望は濃いガスに覆われて叶わなかった。踵を返して鉢伏山を目指す。こちらは予想外に雪が深くて苦戦する。正月の食い過ぎ、飲み過ぎでなまった身体にはちょうどいいラッセルである。12時15分、三角点を經由して山頂台地の南東の岡谷市最高地点の標識のある地点で大休止。風もなく比較的穏やかである。北の山がガスに覆われているのと対照的にこちらは晴れて、諏訪湖、富士山、南アルプスが一望できる。秋の中信新人戦のときには、ここまで鹿が登って来てひなたぼっこをしているのが見えたが、さすがに今の時期にここまで登ってくる鹿はいないようだ。山頂でのんびりと昼食をとってから、下山にかかった。帰りは、往路をとることはせず、牛伏寺へ下り、14:30分には無事帰着。



新春第2弾 2011.01.08 浅間山

信高山岳会の今年の総会兼新年会の場所が浅間山の麓の浅間山荘で開催されるとの連絡があった。期日は1月8日、午後4時。そこで、総会の始まる前に浅間山に登ろうと計画。メンバーは信高山岳会の松田（県ヶ丘高）、久根（高遠高）、重田（小諸高）、相馬（筑摩高）、沼田（王滝中）、大西に鉢伏山にも同行した山内君を交えて7人。9時5分



黒斑山を背に浅間山を目指す（湯の平）

浅間山荘を出発。うっすらと積もった雪を踏みながら沢沿いを火山館を目指す。一の鳥居からは沢沿いを進み、不動滝を経由するコースをとる。不動滝は文字通り「不動」の姿で凍り付いていた。二の鳥居を過ぎしばらく進むと、右手には牙山が左手にはトーミの頭が迫力ある姿で迫ってくる。見かけは近いのだが、火山館までは意外と遠かった。

やがて牙山の奥に浅間山が見えてきて、門のようにになっている牙山とトーミの頭の間のキレットを抜けると火山館となる。以前来たときはトタン張りの貧相な小屋だったが、改築された新しい火山館は丸太作りの立派な小屋。小諸市の委託を受けた管理人が常駐している。休憩は無料だが、宿泊はできないとのことであった。生徒を連れてきてこんな小屋に泊れば最高なのに！残念。風邪気味の沼田さんはここから引き返す。

湯の平を歩いていると、既に登頂を終えたパーティが下ってきたが、そのうちの一人に「大西先生」と呼ばれた。ふっと気がつくやうに山岳協会の理事の木売さんだった。朝早くに出て、もう下ってきたという。湯の平の樹林帯は意外と雪が深かったが、先行して既に往復をした木売さんたち一行のトレースのおかげで随分楽をさせてもらった。後ろを振り返ると、雲一つない真っ青な空の下に黒斑山が白く輝いている。

やがて、北斜面にはいり、斜度が次第に急になると、ところどころ氷化した部分も出てきた。筋をひいた浅間山が何の遮るものもなく、大きく露わにその姿をさらしている。スリップしないように慎重に歩を進める。頂上に到着したのは13時25分。雲一つない青空の下、四囲を遮るものは、お釜から吹き上げてくる噴煙のみである。360度の大大パノラマ、素晴らしい眺望に大満足。総会の開会時間に少し遅れたが、16時15分、浅間山荘に無事帰着した。

編集子のひとごと

明けましておめでとうございます。2011年が始まりました。今年は長野県山岳協会創立50年、そして私が所属する信高山岳会も創立30年。私自身は両方の記念行事に関わっており、ちょっと忙しい年になりそうです。そんな新年を迎え、時間を作って2山に登りましたが、実は今年の最初の登山は標高233mの山でした。正月に京都に住む娘の所へ行った折の1月5日、伏見稻荷に参り、せっかくだからと山頂まで登りました。赤い鳥居をいくつもいくつもくぐった末にたどり着いた山頂で、今年もいい登山ができるように祈りました。今年もよろしくお祈りします。（大西 記 11.1.11）